

# 農村女性起業の評価に求められる多面性の視点

## 女性起業多面性診断ソフトを用いた、当事者による活動効果の把握

諸藤 享子 専門学校非常勤講師

近年、農村女性起業は活発化しており、女性の経済的自立や社会的地位の向上とともに地域社会や地域農業の活性化の効果も注目されている。とりわけ、味噌や豆腐に代表される農産加工品の製造・販売に取り組む起業は、これまでも、転作作物を利用した地域の特産品づくりに貢献してきた。さらに今後は、集落営農による地域農業の推進が現農政の重点課題のひとつとされることから、農村女性起業と集落営農の連携がより強まるものと思われる。

しかしながら、そうした農村女性起業の人や地域や農業に及ぼす経済的効果および社会的効果に関する把握や評価が、これまで十分になされてきたとはいえない。そこで、本稿では、それらの効果を把握するために開発された、女性起業の多面性診断・評価手法の「女性起業多面性診断ソフト」(以下、「診断ソフト」)の概説を行い、同ソフトの有用性と当事者による活動診断の重要性について述べる。

### 1. 農村女性起業の現状と課題

農林水産省の二〇〇四年度調査によると、活動件数は八千六百六十七件、そのうちグループ経営は五千七百十一件(全体の66%)、個人経営は二千九百五十六件(34%)である。グループ経営のうち十人以下のグループが二千九百九十六件あること、年間売り上げ三百万未満の起業が全体の60%を占めていることから、起業の過半数は事業規模が零細な活動である。他方、個人起業の件数は前年度比15・9%の伸びを示し、グループ起業の1・3%と比べて増加率が高い。また、年間売り上げ一千万円以上の起業も千四百十件で前年度比13・2%と増加している。活動内容は、複数回答の結果から地域農産物を利用した食品加工を中心に複数の活動へと多角化している起業の存在が確認できる。これらの結果だけを見ても起業は一律ではなく、活動形態や規模、事業内容において多種多様な広がりを見せている点に今日の起業の特

徴を見出せる。すると、関係機関等がこれまで行ってきた経済的成長へと方向付けた一様な誘導は、一部の起業を除いて現実的でなく、展望を描きたいということが指摘できよう。

一方、そうした農村女性起業の実態を捉える上で指摘されながらも残されている課題に、次のことがある。それは、起業活動の直接的な経済効果だけでなく波及的効果の数量的な把握、そして、女性の新しい働き方や地域資源の有効活用等、収益性や事業規模の拡大を意味している経済的成長とは異なる経済的効果および社会的効果(これらを総じて、以下、「多面性」)の把握と評価である(注1)。

農村女性起業の支援が課題のひとつに位置付けられた農山漁村女性中長期ビジョンから十年余が経過し、活動内容の見直しや方向性の確認の節目を迎えた女性起業も少なくなない。また、食の安心・安全への関心が高まる中、女性起業にあっても地域や消費者への理解や共感を得るための説明

表1 多面性評価指標

	評価視点	対象		
男女共同参画軸	女性の取入	メンバー	起業によって得られる賃金が最低賃金に達した人の有無(%)	直接的経済
	女性の就業条件	グループ	就業条件の整備状況の達成度	直接的その他
	参加者の生きがい	メンバー	起業の仕事に生きがいや充実感を感じている人の有無(%)	直接的その他
	スキルアップ	メンバー	スキルアップのための研修会・講習会への参加率(%)	直接的その他
	社会参画	メンバー	地域の公的な場での発言力(%)	波及的その他
資源活用・環境共生軸	地域内自給	グループ	地域内産品の使用率(%)	波及的経済
	起業による栽培面積の増加	グループ	起業による耕作地面積の増減(遊休農地・荒廃山林を含む)	波及的経済
	起業による栽培品目数の増加	グループ	起業による作目数の増減	波及的経済
	生産物の循環	グループ	残渣物の再利用の有無	波及的経済
	環境への配慮	グループ	環境へ配慮した資材利用の有無	波及的その他
農村文化の継承軸	伝統技術の商品化	グループ	起業により商品化された伝統技術のアイテム数の増減	直接的その他
	伝統技術の伝承(起業者技術)	グループ	起業により伝統技術を認証された人数(%)	直接的その他
	伝統技術の伝承(起業者取入)	メンバー	起業により伝統技術が取入に結びついた人の有無(%)	直接的経済
	伝統技術の伝承(講座)	グループ	企画した/依頼のあった講座数	波及的その他
	伝統技術の伝承(参加者)	グループ	依頼されて対応できる/企画した講座数	波及的その他
起業のイノベーション軸	起業活動の収益率	グループ	起業活動の所得率(%)	直接的経済
	商品化効果(契約栽培)	グループ	契約栽培生産物の利用率(%)	直接的経済
	商品化効果(起業仕向け自給生産物)	グループ	自給生産物の利用率(%)	直接的経済
	起業活動への参加者数	グループ	起業活動に責任を持って主体的にかかわっている人数の占める割合(%)	波及的その他
	担い手育成	グループ	次世代への対応の有無	波及的その他
地域力軸	異業種交流	グループ	地域の異業種の人々との交流回数、連携して行った企画数	直接的その他
	リピーターができる	グループ	消費者のうちの顧客の増減	波及的その他
	地域の求心力	グループ	起業を契機に地域農業振興のためにネットワーク化した人数	波及的その他
	高齢者の地域での役割がある	グループ	原材料生産を担っている65歳以上の人数(%)	直接的その他
	他地域におよぶ求心力	グループ	他市町村からの視察を受け入れた回数	波及的その他
生活者としての連携軸	情報発信	グループ	情報発信方法の整備工夫の達成度	直接的その他
	安心・安全な食の提供(食へのこだわり)	グループ	商品へのこだわり	直接的その他
	安心・安全な食の提供(説明責任)	グループ	商品の説明責任や体制の有無	直接的その他
	消費者との双方向的交流	グループ	消費者と対面しての意見交換の機会	直接的その他
	消費者の農業理解	グループ	メンバーが関与する講習会、体験学習等への参加者数(大人、子供)	波及的その他

責任が求められている。そうした状況において、活動に取り組む女性たちに望まれることは、自らの活動状況を認識し、今後の方向性を主体的に見出していくことである。そのためには、起業活動

の多面性を何らかの指標を基に把握する必要がある。そこで、本稿では、まず、これらの課題を受けて開発された、女性起業の多面性診断・評価手法

のための診断ソフトの説明を行い、次に、実際に同ソフトを用いて起業活動の多面性診断を行う(注2)。終わりに、同ソフトの有用性と当事者による活動診断の重要性について述べる。

## 2. 農村女性起業の多面性を捉える診断ソフト

診断ソフトとは、(1)設定された「多面性評価指標」(表1)の、(2)「評価指標項目」に基づいて行われたアンケート調査の結果を、(3)同ソフトの作業用および診断用シートに入力し、結果をポイントやパーセント集計に置き換えてリーダーチャートにおとし、二つの診断図「女性起業診断チャート」(図1-11)が、「効果測定分類からの診断」(図2-11)という形で、起業活動の多面性の特徴を一目で捉えられるようにしたものである。では、以下に詳しくみてみよう。

### (1) 設定された評価指標の考え方

— 6つの評価軸と4つの効果測定分類 — (表1参照)

評価指標には、起業活動の多面性を把握するための大枠として、六つの「評価軸」と四つの「効果測定分類」が設定されている。

まず、六つの評価軸では、女性の社会参画や経営参画、地域社会や地域農業との連携等、起

業活動の多面性をトータルに捉えるために、「男女共同参画軸」「資源活用・環境共生軸」「農村文化の継承軸」「起業のイノベーション軸」「地域力軸」「生活者としての連携軸」が設定された。各軸に五つの「評価視点」を下位に置き、それぞれの視点ごとに具体的な評価指標項目が設けられている。

次に、四つの効果測定分類では、起業活動の経済的・社会的効果を捉えるために、「直接的效果」と「波及的效果」、「経済効果」と「その他の効果」という切り口でもって、2×2のマトリックスによる「直接的経済効果」「直接的その他の効果」「波及的経済効果」「波及的その他の効果」が設定された。「直接効果」は、その活動が直接働きかけた変化、「波及的效果」は、その活動が間接的に地域にもたらした変化である。「経済効果」は、経済的に直接換算される指標で構成され、「その他の効果」は、経済的には換算不可能、あるいは代替性や機会費用などで試算することによって換算される指標で構成される。

これら六つの評価軸のそれぞれの評価視点を踏まえつつ、各評価指標項目に四つの効果測定分類のいずれかを対応させることで、起業活動の多面性の実態とその効果を捉えようとするものである。

## (2) アンケート調査のねらい

先に述べた、評価指標項目に基づいたアンケート調査は、対象とする起業グループとそのメンバ

ーそれぞれに分けて行う。そうすることで、内部的には起業活動の経営実態と女性たちの参画状況、対外的には地域社会や地域農業への影響、の双方から起業活動の実態と効果を捉え、当該起業の特徴を複眼的な視点から明らかにしようとする狙いがある。

## (3) 診断ソフトによる可視化

### 2つの診断図(図1、図2、参照)

アンケート調査結果は、前述したように、開発された診断ソフトを用いて作製された二つの診断図「女性起業診断チャート」(図1)、「効果測定分類からの診断」(図2)によって確認することができる。

その目的は、調査結果をポイントに置き換え、指標ごとのポイントを診断図におとすことで、起業活動の現状を相対化し、視覚的に訴えて起業活動の特徴を見え易くすることである。

図1は、六つの評価軸の各軸五つの評価視点について五割満点で集計を行い、さらに総合診断値として100%集計に換算して、チャートにおとしたものである。図2は、四つの効果測定分類の分類ごとに、先に集計したポイントの合算を行い、その平均点を総合診断値として診断図に表したものである。

では、実際に、図1、図2をみながら、起業活動の多面性を捉えてみよう。

## 3. 起業活動の多面性の診断

### (1) S会の概要

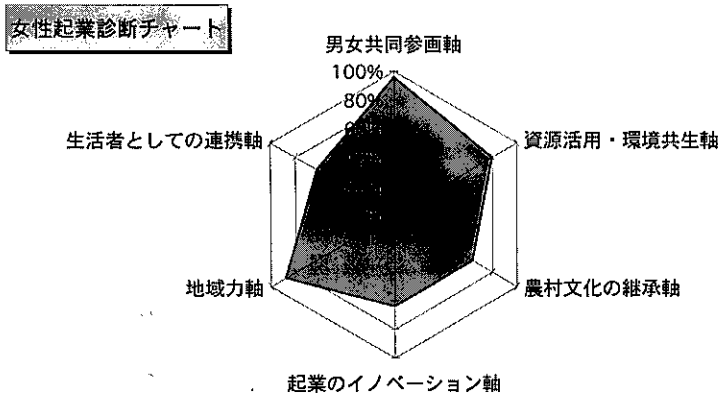
図1、図2は、S会(一九九六年結成、会員数二十名)の多面性指標による診断図である。S会のメンバーは専業の農家女性で構成されており、起業活動日は週三日、農業と起業活動の両立を図りながら、地元大豆を活用した豆腐等の大豆製品を中心に、餅菓子や季節弁当などを製造している。直売店を持たず、販売は配達や委託による。S会のあるO地区では、S会仕向け大豆の生産拡大のために、二〇〇一年には機械利用組合が結成され、同地区の大豆契約栽培面積は拡大し続けている。また、同地区は、むらづくり部門で知事賞を受賞するなど、農村振興運動に積極的な地区である。

### (2) 「女性起業診断チャート」による把握と診断

まず図1を見ると、六角形が「男女共同参画軸」「地域力軸」「資源活用・環境共生軸」の方向へ伸びた形になっている。S会は、三つの軸に強みのある各軸のバランスのとれた起業活動を行っていることがわかる。

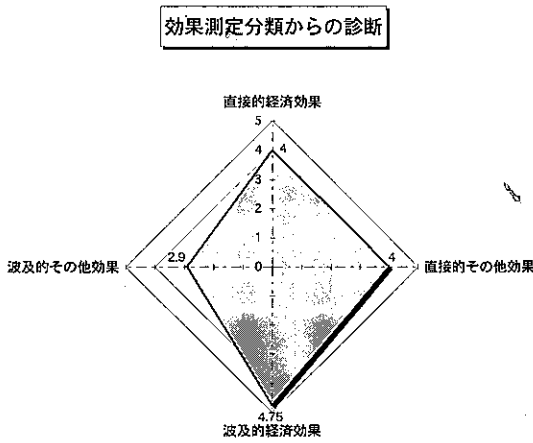
詳細を見ると、最も高い伸びを示した「男女共同参画軸」では、いずれの評価視点においてもポイントが高く、メンバーが経済的に保障されながら、生き甲斐をもつて、技術の習得や社会参画が実現されていることがわかる。また、「地域力軸」

図1 多面性評価による診断図



グループ名:S会

図2 効果測定分類診断シート



グループ名:S会

では、地域の異業種交流や農業振興のためのネットワークが広がり、高齢者の活躍の機会を提供していることがわかる。さらに、「資源活動・環境共生軸」では、S会仕向けの契約栽培の増加に代表されるように、地元産原材料の利用に努めており、加工活動で排出される残渣物の再利用も積極的に取り組まれていることがわかる。一方、課題としては、「起業のイノベーション軸」の「起業

活動の収益率」のポイントが低く、経済活動としての維持・継続という点で問題があることがわかってきている。全体的な傾向としては、高いポイントを示している評価視点を並べて見ると、地域の人や資源を活用し、地域農業と連携した加工品の製造・販売が行われている様子がうかがわれるが、低いポイントと並べて見ると、伝統技術の伝承、情報発信や消費者理解等、外部へのより積極的な働きかけが不足していることがわかる。

**(3) 効果測定分類からの診断」による把握と診断**

次に図2を見ると、「波及的その他効果」の伸びが低く、「波及的経済効果」の伸びがより高い、

ひし形をしている。S会の活動は、「波及的その他効果」が弱いものの、全体的に高い効果をあげていることがわかる。

詳細を見ると、最もポイントの高い「波及的経済効果」では、地域農産物の利用が増え、地域農業への経済効果が大きいことがわかる。そして、「直接的経済効果」では、伝統技術を活かして農産加工品を商品化し販売したことで収入が得られ、女性たちへの直接的な経済効果が上がっている。

また、「直接的その他効果」では、女性の生きがいや技術の向上、地域の異業種交流や高齢者の役割発揮、安心・安全な食の提供といった、地域の人々への様々な効果が見られる。一方、ポイントの低かった「波及的その他効果」では、女性の社会参画は進んでいるものの、伝統技術の伝承や消費者理解等の人的交流が不足しており、地域内外へ及ぼす効果が弱いことがわかる。

**4. 診断ソフトの有用性と当事者による活動診断の重要性**

上述したように二つの診断図からは、女性の参画、地域の人々との連携、地域農業の振興等、直接的・波及的な経済的効果やその他の様々な社会的効果が確認された。また、課題として、消費者をはじめとする外部へのより積極的な働きかけが不足している点が明らかになった。これらのことは、経済性の視点だけでは捉えることのできない、農村女性起業の多面性である。この診断ソフトを

用いて多様性を明らかにすることで、一様ではない農村女性起業の経済的・社会的特性を認識し、それぞれの起業の特性に応じた将来像を描くことが可能となる。

そこで、農村女性起業の将来像を検討する際に求められる重要な視点とは、起業活動に参画している女性たちが活動の診断を行う際、第一に、それぞれに異なる起業活動の目的や事業規模を踏まえて、女性たちが自らの活動の現状および特性を自ら認識すること、第二に、各軸が全てに満点となるような起業活動を目指すのではなく、当該起業に応じた今後の方向性を当事者が主体的に見出すことである。

診断ソフトを用いて起業活動の多面性を診断することは、農村女性起業が多様化する中で、起業活動の今後の方向性を見出していくための一助になると思われる。また、アンケート調査によって収集されたデータは、消費者をはじめとする外部への説明責任を果たすための客観的資料としても有用だと思われる。尚、本稿で用いた多面性の指標項目の妥当性や数量的把握の方法にはさらなる検討を要するが、それらは今後の課題としたい。

【注】

注1..例えば、宮城(宮城、一九九六)は、女性起業の役割と特性の関連性を整理し、女性起業の特性に応じた評価の必要性を指摘している。また、岩崎・宮城(岩崎・宮城、二〇〇一)は、「女性起業を

どのように把握し、評価するかについては、多様な視点が必要となる」とし、複数の視点から起業の特徴や課題を整理し、事例分析を行っている。

注2..全国農業改良普及支援協会が実施した「農業・農村男女共同参画チャレンジャー事業」(二〇〇四年度)において、女性起業活動の多面性評価手法開発の調査研究(二〇〇一〜〇三年度は、旧農村生活総合センターが実施)を、同協会の安倍澄子主任研究員(二〇〇一〜〇四年度)と筆者(二〇〇四年度)が担当した。開発した診断ソフト等の評価手法の詳細については、事業報告書「女性起業の多面性診断・評価手法」を参照されたい。

【引用・参考文献】

- 1..安倍澄子著「農村女性起業の支援のあり方とその手法」『技術と普及』全国農業改良普及支援協会、二〇〇四年
- 2..岩崎由美子・宮城道子編『成功する農村女性起業 仕事・地域・自分づくり』家の光協会、二〇〇一年
- 3..農村生活総合研究センター編『生活研究レポート59 女性起業の多面性評価の手法』二〇〇四年
- 4..宮城道子著『農村ではじめる女性起業—もうひとつの夢づくり—』農山漁村女性・生活活動支援協会、一九九六年

# 血液サラサラ健康事典



【主な内容】

- 食でサラサラ●  
きれいな血液づくりのために  
欠かせない食材は?  
おいしい食べ方、栄養を逃さないコツも紹介!
- 知ってサラサラ●  
ドロドロ血液ってどんな状態?  
血液の滞りが招く病気とは?  
血液、血管のしくみをわかりやすく解説!
- リラックスでサラサラ●  
血液の流れをよくするには?  
ウォーキング、ストレッチ、  
入浴アロマテラピーで体と心をほぐそう!

血管の老化は20歳から始まっている!  
サラサラ血液になるための情報がぎゅっしり!

医学監修 藤井 潤  
料理 竹内 喜實子  
食材監修 小川 万紀子  
エクササイズ監修 西沢 敏二  
スペシャルゲスト 田崎 真也

時事通信出版局 健康医療情報班編集  
●A5判・208頁・定価1260円

時事通信社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル1F  
TEL 03(3501)9855 FAX 03(3501)9868